様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	青森中央文化専門学校
設置者名	学校法人　青森田中学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	トータルファッション科 アパレル専攻	夜・通信	420 時間	160 単位時間	
	トータルファッション科 ファッション販売専攻	夜・通信	420 時間	160 単位時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.aomoricgu.ac.jp/s/guide/jyouhoukoukai/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	青森中央文化専門学校
設置者名	学校法人　青森田中学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに掲載 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/wp-content/blogs.dir/11/files/2023/06/08_R04_gaiyo_02.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	団体参与	2022.6.1　～ 2026.5.31	法人運営体制のチェック機能
非常勤	株式会社代表取締役社長	2019.9.19 ～ 2023.9.18	法人運営体制のチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	青森中央文化専門学校
設置者名	学校法人　青森田中学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

・授業計画書作成過程については、各科目担当教員において、次年度カリキュラム案を作成し、職員会議にて校長の承認を得ている。

・授業計画については、年度毎に担当教員がシラバスを作成し、新年度開催されるオリエンテーションにて、授業の方法及び内容、年間授業計画と目標取得資格を予め明示し、学習ゴールを周知している。

・シラバスは、本校ホームページにて公表している。

授業計画書の公表方法	https://www.aomoricgu.ac.jp/s/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学期末試験を行い、学習意欲と成果を評価している。また、学期末試験を実施しない科目については、出席率、授業課題、レポート等で評価をしている。

成績の評価については、Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階で示され、Ａ・Ｂ・Ｃは合格、Ｄは不合格とする。

（１）各科目の評価は、学期末試験・出欠席（出席時間数４／５以上）と平素の成績等授業に関するすべてを総合的に勘案して決定している。

（２）評価と評点の関係は以下のとおり。

評価	評点	合否
A	８０～１００点	合格
B	７０～７９点	
C	６０～６９点	
D	０～５９点	不合格

（３）上記の成績評価を基に職員会議の議を経て判定する。

（４）所定の科目に合格し次の条件を充たした者には、職員会議の議を経て校長は、卒業証書を授与する。

２．卒業認定要件を満たしていること。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
成績評価については、期末試験を行い、学習意欲と成果を評価している。また、学期末試験を実施しない科目については、出席率、授業課題、レポート等で評価をしている。
成績の評価については、Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階で示され、Ａ・Ｂ・Ｃは合格、Ｄは不合格とする。
（１）各科目の評価・評点は、シラバスに記載している評価方法に基づき決定している。
（２）評価と評点の関係は以下のとおり。

評価	評点	合否
A	８０～１００点	合格
B	７０～７９点	
C	６０～６９点	
D	０～５９点	不合格

なお、以下の算出基準により成績分布状況を把握している。

$$\frac{（評価Aの科目数×３）＋（評価Bの科目数×２）＋（評価Cの科目数×１）}{科目数合計}$$

（３）上記の成績評価を基に職員会議の議を経て判定する。
（４）所定の科目に合格し次の条件を充たした者には、職員会議の議を経て校長は、卒業証書を授与する。
２．卒業認定要件を満たしていること。

客観的な指標の算出方法の公表方法	本校ホームページにて公表している。 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
・卒業認定要件については、以下の２項目を満たすこととしている。
　１．全科目において合格（学業成績評価Ａ～Ｃ）すること。
　２．各専攻とも任意の三科目の中から、一科目につき３級を１資格以上、うち１資格は２級以上（国家試験合格を２級以上と見なす等、３級・２級と表記されない資格についてはシラバスを参照のこと）取得すること。
または学校長が認めた上記に準ずる資格を取得すること。
上記に記載されていない資格や新設の資格については卒業認定要件として考慮することがある。

卒業の認定に関する方針の公表方法	本校ホームページにて公表している。 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	青森中央文化専門学校
設置者名	学校法人青森田中学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページに掲載 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/wp-content/blogs.dir/11/files/2023/06/08_R04_gaiyo_02.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページに掲載 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/wp-content/blogs.dir/11/files/2023/06/08_R04_gaiyo_02.pdf
財産目録	ホームページに掲載 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/wp-content/blogs.dir/11/files/2023/06/08_R04_gaiyo_02.pdf
事業報告書	ホームページに掲載 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/wp-content/blogs.dir/11/files/2023/06/08_R04_gaiyo_02.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページに掲載 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/wp-content/blogs.dir/11/files/2023/06/09_kansa20230526.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
服飾家政分野		専門課程	トータルファッション科（アパレル専攻）		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１，７５０／６２ 単位時間／単位	490 単位時間/単位	1,260 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			１，７５０単位時間／単位				

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
服飾家政分野		専門課程	トータルファッション科（ファッション販売専攻）		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１，７５０／６２ 単位時間／単位	315 単位時間/単位	1,435 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			１，７５０単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人内数	17	0 人	3 人	8 人	11 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・講義授業では基礎知識の習得を行い、実習、演習を通じて実践的な技術の修得を目指した授業を行っている。 ・学生が目標とする資格を科目ごとのシラバスに明記し、目標を持って学習している。

・授業計画は、年度ごとに担当教員がシラバスを作成し、学生に配付し、学習ゴールを周知している。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価については、期末試験を行い、学習意欲と成果を評価している。また、学期末試験を実施しない科目については、出席率、授業課題、レポート等で評価をしている。

成績の評価については、Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階で示され、Ａ・Ｂ・Ｃは合格、Ｄは不合格とする。

（１）各科目の評価・評点は、シラバスに記載している評価方法に基づき決定している。

（２）評価と評点の関係は以下のとおり。

評価	評点	合否
A	８０～１００点	合格
B	７０～７９点	
C	６０～６９点	
D	０～５９点	不合格

なお、以下の算出基準により成績分布状況を把握している。

$$\frac{（評価Aの科目数×３）＋（評価Bの科目数×２）＋（評価Cの科目数×１）}{科目数合計}$$

（３）上記の成績評価を基に職員会議の議を経て判定する。

（４）所定の科目に合格し次の条件を充たした者には、職員会議の議を経て校長は、卒業証書を授与する。

２．卒業認定要件を満たしていること。

卒業・進級の認定基準

（概要）

・卒業認定要件については、以下の２項目を満たすこととしている。

１．全科目において合格（学業成績評価Ａ～Ｃ）すること。

２．各専攻とも任意の三科目の中から、一科目につき３級を１資格以上、うち１資格は２級以上（国家試験合格を２級以上と見なす等、３級・２級と表記されない資格についてはシラバスを参照のこと）取得すること。

または学校長が認めた上記に準ずる資格を取得すること。

上記に記載されていない資格や新設の資格については卒業認定要件として考慮することがある。

学修支援等

（概要）

学期ごとに、クラスアドバイザーによる個別面談の実施を行い、個別に状況ヒアリングを行っている。また、学習支援センターが設置されているため、学習面、学生生活面等の不安を抱える学生の窓口となり、専門的職員による相談を受けている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
６人（100%）	０人（0%）	６人（100%）	０人（0%）

（主な就職、業界等） アパレル、ファッション業界、縫製会社等。
（就職指導内容） クラスアドバイザーによる、学期毎の個別面談、相談を実施し、学生が抱える不安を早期に対応している。また、キャリア支援センターが配置されているため、求人に関する窓口を設け、かつ、専門的な職員による個別面接指導、履歴書添削指導の実施、個別相談を実施している。毎年３月に青森田中学園全体で実施する「学内企業セミナー」へ全員参加し、就職活動のスタートを切っている。随時実施される就職セミナー開催の紹介、授業の一環として行われる「企業セミナー」への参加により、就職意識を高めている。また、卒業生の就職先を訪問し、卒業後の状況を確認するとともに、後輩へのアドバイスをヒアリングし、学生指導に活かしている。 専門的な職業の企業等を訪問し、人事担当者、卒業生との懇談会等によって、就職意欲を高め、正社員就職を目指せるプログラムを実施している。
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメーキング技術検定、ファッション販売能力検定、洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、日商ＰＣ検定、ビジネス能力検定、ニュース時事能力検定等
（備考）（任意記載事項） 就職状況の背景には、希望地域（県外・県内）によって、求人の増減がある。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	3 人	17.6%
（中途退学の主な理由） ・就職への進路変更または体調不要		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラスアドバイザーが学期ごとに個別面談を行い、学生が抱える問題をヒアリングし、個別対応を行っている。また、学習支援センターにて、学業、人間関係、健康面などの相談を専門職員が対応している。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
ﾄｰﾀﾙﾌｧｯｼｮﾝ科（ｱﾊﾟﾚﾙ専攻）	80,000 円	350,000 円	120,000 円	施設維持費　60,000 円 教育充実費　60,000 円
ﾄｰﾀﾙﾌｧｯｼｮﾝ科（ﾌｧｯｼｮﾝ販売専攻）	80,000 円	350,000 円	120,000 円	施設維持費　60,000 円 教育充実費　60,000 円
修学支援（任意記載事項）				
授業料等減免制度：「子弟減免制度」、「特待生制度」、「設置校入学に伴う入学金減免制度」、「青森中央短期大学附属幼稚園卒園者入学金減免制度」、「連携保育園卒園者入学金減免制度」				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページにて公表している。 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
本校は、職業実践専門課程の認定を受けている。年２回、学校関係者評価委員会を開催し、各専攻に関係する業界から委員の出席を行い、カリキュラム等の意見を受け、次年度の授業計画、シラバス作成、目標資格の設定等の学校教育に反映している。 評価委員の構成については、次の掲げる区分から校長が委嘱する委員により構成する。 （１）関連業界等関係者　１名以上 （２）卒業生　１名以上 （３）その他校長が必要と認める者 ２　委員の任期は、１年とする。ただし、再任を妨げない。 アパレル業界、ファッション業界、縫製業界等から構成し、評価委員が評価を行っている。 評価項目については、評価基準１～１０までを設定し、各評価項目については、以下のとおりとする。 （１）評価基準１「教育理念・目的・育成人材像等」 （２）評価基準２「学校運営」 （３）評価基準３「教育活動」 （４）評価基準４「教育成果」 （５）評価基準５「学生支援」 （６）評価基準６「教育環境」 （７）評価基準７「学生の募集と受け入れ」 （８）評価基準８「財務」 （９）評価基準９「法令等の遵守」 （１０）評価基準１０「社会貢献」 上記１０項目について、学校関係者評価委員が評価を行っている。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
青森県アパレル工業会 株式会社蓬田紳装	２年	企業
株式会社ブービープランニング	２年	卒業生
青森市横内町会	２年	町内会

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページにて公表している。 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/
第三者による学校評価（任意記載事項）
本校の学校関係者評価結果の活用は、自己点検評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用することを目的としている。 また、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めるためにも実施している。 活用状況としては、第一に、評価基準４「教育成果」について、学習内容の認識に入学前と入学後ではギャップが感じられる学生がいる為、オープンキャンパスの学科説明を工夫した。また、少人数制を活かし、個別指導を行った。 第二に、社会貢献においては、地域とのより密接な活動を求められている意見もあり、小中学生向けの職業を意識した体験イベントへの参画が提案され、地域及び関連設置校と連携し、積極的に関わりながら学校ＰＲに繋げる機会を増やしていく。

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページにて公表している。 https://www.aomoricgu.ac.jp/s/